

### 新文化ホールで育まれた力がまちへ広がる！

新文化ホールでは、部屋の貸出中心の運営ではなく、ホール自体が事業を企画・開催する新たな取り組みが始まります。ホール発のイベントで人と人がつながることで、文化・芸術を軸とした地域の「ともに創る」力が生まれ、他分野とつながりながらまち全体に広がることが期待されます。

- 1 気になる講座をちょこっとおためし！鑑賞・体験**

文化芸術と市民をつなぐ多様な鑑賞機会・体験機会を創ります。

「はじめての演劇講座」か…そういや子どもの頃、俳優さんに憧れてたなあ。よし、試しに行ってみるか！
- 2 気に入ったものに本気でチャレンジ！市民参加推進**

若い世代が中心となって、人と人をつなぐ懸け橋となる市民参加の機会を創ります。

舞台上立つって楽しい！せっかくだから市民演劇にも参加してみよう！
- 3 ホールがいつしかいつもの場所に！交流促進**

日常的に居心地の良い空間をつくり、過去・現在・未来へと続くつながりのきっかけを創ります。

この間、市民演劇と一緒にあった〇〇さんだ！

演劇が大好きな〇〇さんだ！
- 4 ホールを拠点に自分で企画してみよう！人材育成・文化創造**

本市の豊かな歴史資源や文化資源をつないで未来へ届ける、担い手や活動を創ります。

よし、子ども向けの演劇教室を立ち上げてみるぞ！
- 5 ホールで育まれた力が街中へ飛び出す！にぎわい創出・連携**

文化・芸術を軸としながら、他分野・多世代・他地域をつなぎ、市民が「幸せを生きる」まちを創ります。

ホールでつけた力でまちを元気に！

新文化ホール基本計画から一部をご紹介します！

### 本格的な舞台芸術の体感・表現の場として大切にしている3つの機能

## 1 ホール機能

観るだけでなく、体感し、ともに表現する場として、ステージと客席が一体となる空間づくりをめざします。生音の響きを生かす優れた音響性能や、座り心地の良い鑑賞座席、市民の活動からプロ公演まで幅広く対応できる広い舞台を設けていきます。



## 2 創造活動機能

市民の日常的な創造・練習・発表活動の場としての空間づくりをめざします。防音性能を備えた場や、舞台と同規模のリハーサルができる場、美術・創作活動に対応できる場などを設けていきます。



## 3 交流機能

誰もが日常生活で気軽に訪れ、賑わいをもたらす場としての空間づくりをめざします。様々な活動団体や住民同士の交流・憩いの場、物販のためのスペース、キッズスペース、本市の文化情報の共有の場などを設けていきます。



## 新文化ホールが未来をひらく

# 一人ひとりの想いを乗せて文化芸術の舞台を創る

「文化」と聞いて、あなたは何を思い浮かべますか。

あなたが今朝聞いた音楽やスマートフォンで撮った写真、休みの日に見た映画や小学生の頃クラスで取り組んだ演劇。その一つひとつが私たちの生活を豊かにしてくれる「文化」であり「芸術」です。そして、それらは自分らしさへの気づきや仲間との交流・相互理解へのきっかけをくれるものでもあります。

今月号の特集は、文化振興を推進する拠点として整備を進めている「新文化ホール」について。本格的な舞台芸術を身近に体感できるばかりでなく、日常的な楽器演奏や美術創作をはじめとする文化芸術の体験・交流・創造活動ができる新文化ホールは、まさに「新たな文化に触れ、自らも文化を表現」できる場。本市の文化芸術の未来をひらく拠点を、一緒に創っていきませんか。

関文化・スポーツ振興課(TEL24-7033・FAX23-6537)

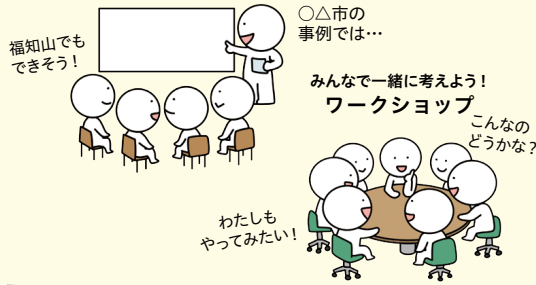
CHECK!!

## 新文化ホールに関するシンポジウムに参加しませんか？

現在、新文化ホールに関するシンポジウムの開催を企画しています。他地域における文化ホールの先行事例などを聴き、本市の新文化ホールでどんなことをしたいか、どんな施設をめざしたいかをワークショップ形式で考えます。シンポジウムの詳細は、決まり次第、市ホームページでお知らせします。

☎文化・スポーツ振興課(☎24-7033・☎23-6537)

### 他地域の先行事例などのシンポジウム



検討委員会での意見より一部を抜粋

# 新たな文化の拠点創出へ みなさんと歩んできた ここまでの道のり

市民生活を豊かに  
夢や希望を叶える施設へ

市では、平成28年(2016)の厚生会館改修計画見直し以降、検討委員会や市民ワークショップ、意見募集を通じて、多くの市民のみなさんの協力を受けながら、新文化ホールの建設にかかる検討を進めてきました。  
新文化ホールがめざすのは、市民生活を一層豊かにするための、あらゆる文化振興を推進する拠点。多様な舞台芸術に触れる機会や文化活動の機会を充実させることで、次世代を担う子どもたちをはじめとする市民の夢や希望が実現できる施設とします。

### みなさんと共に創り上げる 参加型施設・新文化ホール

令和4年(2022)に策定した基本構想や翌年に策定した基本計画では、ホール機能だけでなく、練習室や展示スペースといった創造活動機能の整備を示しています。また、キッズスペース、飲食スペースなどの交流機能や防災対応機能も備えた施設とします。

多様な舞台芸術を鑑賞するだけではなく、市民一人ひとりが舞台や創造活動に参画できる参加型施設をめざす新文化ホール。  
子どもや孫たちの世代までがずっと長く使うものだからこそ、今後みなさんの声を聞きながら、みなさんと一緒に創っていきます。多くの人に長く愛される新文化ホールを創るため、ぜひ、あなたの思いを聴かせてください。

4

これから

### 事業運営計画策定

市民が主体となった様々な文化芸術活動が展開されるよう、効果性や効率性、安全性などに配慮しながら、市民と協働する運営・管理の仕組みを検討する。

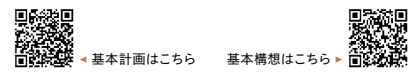
市民説明会  
を開催

3

2022.12・2023.7

### 新文化ホール基本構想 ・基本計画を策定

検討委員会やワークショップでの検討内容をもとに、基本理念や整備方針、実現のために必要なものをハード・ソフトの両面から定めた。



基本計画はこちら 基本構想はこちら

パブリック  
コメントを実施

市民ワークショップ  
を開催

2

2022.7～2023.7

### 新文化ホール整備基本構想 ・基本計画検討委員会(計10回)

有識者や関係団体などが、文化芸術の社会的トレンドや市民から集まった意見などをもとに、建設場所や機能、設備などの検討を進めた。

市民公募委員  
の参加

1

2016～2019

市民意識調査

### 厚生会館改修計画の見直し ・文化振興基本方針策定

改修費用が予定を大幅に超過することが判明。文化ホールの新たな建設も含め、あり方を検討することに。

### 本格的な舞台芸術に対応!

#### 演技者の表情が分かり、客席と一体となる空間に

地域の文化的魅力を築き発信する拠点としてのあり方を検討するにあたり、新文化ホールが、多様な舞台芸術を体験できるだけでなく、誰もが“ともに表現できる”場となることを大切に、議論を重ねてきました。多様な舞台芸術に対応できる機能や、楽器の生音の響きを活かすことができる優れた音響性能を備えるほか、演技者の表情が分かり、舞台と客席の一体感が得られる空間とするため、600席以上の客席を計画しています。

検討委員会での議論の様子を一部ご紹介! /

1000席も含めて検討すべきではないか。大は小を兼ねるといえる。

老朽化のリスクや市の人口を長期的にみると、現実的に1000人規模のホールを稼働しているのか。

若い人が公演を見て、自分も加わりたいたいと思ってもらえるかが大切。中規模のホールと練習室などの創造活動機能を充足させることが必要。

### 市内6か所の候補地から

#### 厚生会館用地を建設予定地に!

建設予定地の選定にあたり、市民交流プラザや駅周辺、三段池公園周辺など市有地6か所の比較検討を行いました。①利便性が高く日常的に立ち寄りやすいこと、②周辺施設との連携やまちなか回遊が容易であること、③御霊公園に隣接し歴史的にも文化の中心エリアであることや、これまで進めてきた中心市街地活性化・広小路通整備などのまちづくりとの整合性、市民のみなさんからのパブリックコメントなどを踏まえ、厚生会館用地を予定地としました。

検討委員会での議論の様子を一部ご紹介! /

水害のリスクがある場所は避けるという考え方と、近隣住民の一時的な避難所として必要という考え方がある。

駅前であれば学生が利用している図書館とも近く、広い範囲からの来場者も期待できる。

駅前は利便性が高いが、来場後すぐに帰ってしまう。交流やにぎわいの面で考えると、目的以外にどう使ってもらえるか、まちとしての意味合いが重要。